

2006年8月30日

各 位

オリックス自動車株式会社

国内最大規模の自動車リース債権証券化を実施

オリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：三谷英司）は、資金調達の多様化や長期資金の確保を目的とした財務戦略の一環として、このたび当社が保有する自動車リース債権の証券化を実施いたしました。証券化にあたっては、信託受託者としてオリックス信託銀行㈱、スキームのアレンジャーとしてオリックス㈱、信託受益権販売業者としてオリックス証券㈱とオリックス㈱が参画するなど、オリックスグループの総合力をフル活用しています。

本件にともなう資金調達金額は 509 億円で、日本国内における自動車リース債権証券化としては、過去最大規模となります。

オリックス自動車は、法人分野における自動車リース事業を主軸とし、レンタカー事業やカーシェアリング事業など、自動車に関連する事業を幅広く手がけています。今後も、証券化スキームなどを活用し、保有資産を効率的に運用していくことで、これら既存事業の拡大だけでなく、新規事業分野への進出やレンタカー店舗の増設等についても、積極的な展開を図っていきたいと考えています。

以 上

＝自動車リース債権証券化の概要＝

- 案件名 : 『オリックス オートトラスト 2006-1』
- 発行総額 : 509 億円（優先受益権ベース）
- 受益権譲渡日 : 2006年8月30日
- 信託財産 : 自動車リース債権（メンテナンス特約付リース債権を含む）
- 格付け : S & P - A A A、ムーディーズ - A a a
- オリジネーター : オリックス自動車㈱
- 受託者 : オリックス信託銀行㈱
- 受益権販売業者 : オリックス㈱、オリックス証券㈱
- アレンジャー : オリックス㈱

<本件に関するお問い合わせ先>

社長室：山本・矢崎 / Tel：03-6436-6030

【スキーム概要図】

